

岐阜市センターゾーンの未来風景

– The future landscape –



センターゾーンの 未来をみえる化しました



みえる化の目的

岐阜駅周辺から岐阜公園までをつなぐ岐阜市のセンターゾーンには、これまで築き上げ、受け継がれてきた個性に満ちた駅周辺エリア、柳ヶ瀬エリア、つかさのまちエリア、岐阜公園エリアの4つのエリアがあります。商業、居住など多様で高次の都市機能を有する都市の顔となるセンターゾーンは、ゾーン内に留まらず、都市全体が持続発展するためのエンジンであり、きわめて重要なゾーンです。センターゾーンの推進力をさらに強めるには、リニアインパクトなどを見据え、民間と行政とが力を合わせながら、まちの魅力を高め、潜在的な価値を向上させることが不可欠です。そこで、市民の皆さまをはじめ、多くの方々に、センターゾーンの未来に関心を持っていただくきっかけづくりとともに、民間活力・投資の誘発やまちなか居住のさらなる誘導を図るため、概ね10年先の未来における緩やかな方向性を分かりやすくみえる化する「岐阜市センターゾーンの未来風景」を作成しました。

将来像に向けた基本的な考え方

まちは、働く場、暮らしの場などのプラットフォームとしての役割を有し、センターゾーンにおいても、目的の異なる人々が、都市空間を自由に往来することで、にぎわいと活気が生まれます。個性あふれるエリアごとに、目指すべき未来をみえる化しつつ、求められる都市機能を明確にし、厚みと広がりのあるにぎわいを創出します。

センターゾーンの将来像

これら4つのエリアの個性を際立たせながら、センターゾーン全体をさらに魅力ある空間へと導くことが大切です。古きと新しきが調和したまちなみを演出し、市民や来訪者がこの場でしか体感することのできない、ときめきとやすらぎを提供する都市空間づくりを実現し、未来を切り拓いていきます。

将来像 ときめきとやすらぎを体感する都市空間を創出し、
未来を拓くセンターゾーンへ

イノベーションを創出する地の未来がみえます

— 国内外から絶え間なく多くの人々を迎え入れます —

駅周辺は、交通結節点としての役割のみでなく、多くの人々を迎えるゲートウェイ機能を有する、おもてなしの場であり、宿泊客を受け入れる施設も整っています。この一帯では良好なアクセス性に起因する、まちなか居住の促進に加えて新たなオフィス需要の拡大も生じており、クリエイティブな人材の交流による岐阜市発のイノベーションが生みだされる未来がみえます。

Eki shuhen 駅周辺エリア

JR岐阜駅北口周辺

おもてなす。



JR岐阜駅



コンベンション施設



リモートオフィス／
コワーキングスペース

求められる主な都市機能

オフィス機能／宿泊機能／商業機能／
教育文化機能／医療機能／防災機能 等

未来に向けて

- 新たな働く場となる様々な業種や勤務形態のプラットフォームとしてリモートオフィスの実証実験を行います。
- 鉄道とバスとのシームレスな乗り継ぎなど、誰にも優しく利用しやすい交通環境の整備を進めます。
- 名古屋圏に近い良好なアクセス性を生かし、まちなか居住を支援します。

主な関連計画

岐阜市総合交通戦略／
岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略 等

伝統と先進が融合する地の未来がみえます

— お気に入りの出会える個性に彩られた空間が広がります —

柳ヶ瀬は商いを生業とする人々に支えられ繁栄してきた、にぎわいの場です。岐阜市が誇る老舗店舗に加え、リノベーションされた建物では、新たに起業を志す店主が店舗を構えるなど、個性に彩られた商店街は熱量にあふれています。また、市街地再開発事業をはじめとする柳ヶ瀬周辺の開発は、多くの居住空間を創出するなど、新時代のまちづくりを予感させます。伝統と先進が融合したまちなみの新たな未来がみえます。

個性あふれる店舗で再生した
古くて新しい商業のまちなみ



Yanagase 柳ヶ瀬エリア

高島屋南地区
第一種市街地再開発
事業と周辺のまちなみ



出典：高島屋南
市街地再開発組合

求められる主な都市機能

商業機能／子育て支援機能／健康づくり機能／教育文化機能 等

未来に向けて

- エリア内の新たなリノベーションの展開につなげるため、まちづくりの担い手づくりを進めます。
- 日常生活に欠かすことのできない都市機能とともに、より高度で多様な都市機能が集積する利点を生かし、まちなか居住を支援します。

主な関連計画

岐阜市中心市街地活性化基本計画 等

にぎわう。



市民の誇りとなる地の未来がみえます

— 知とぬくもりを育みながら、多様なふれあいが生まれます —

つかさのまちは、行政サービスの中核的機能を有する市役所新庁舎をはじめ、市民活動や交流の場、自ら文化活動も行える、文化に触れる場、さらには、知的好奇心を満たしてくれる図書館など市民生活に欠かすことのできない機能が揃っています。訪れることで、岐阜市に関わる様々な人々が岐阜市に対する愛着や誇り（シビックプライド）を感じ育み合う場でもあり、この地を拠点として多くの市民が手を取り合い、笑顔で快適に暮らす未来がみえます。



ミュージアムを彷徨とさせる地の未来がみえます

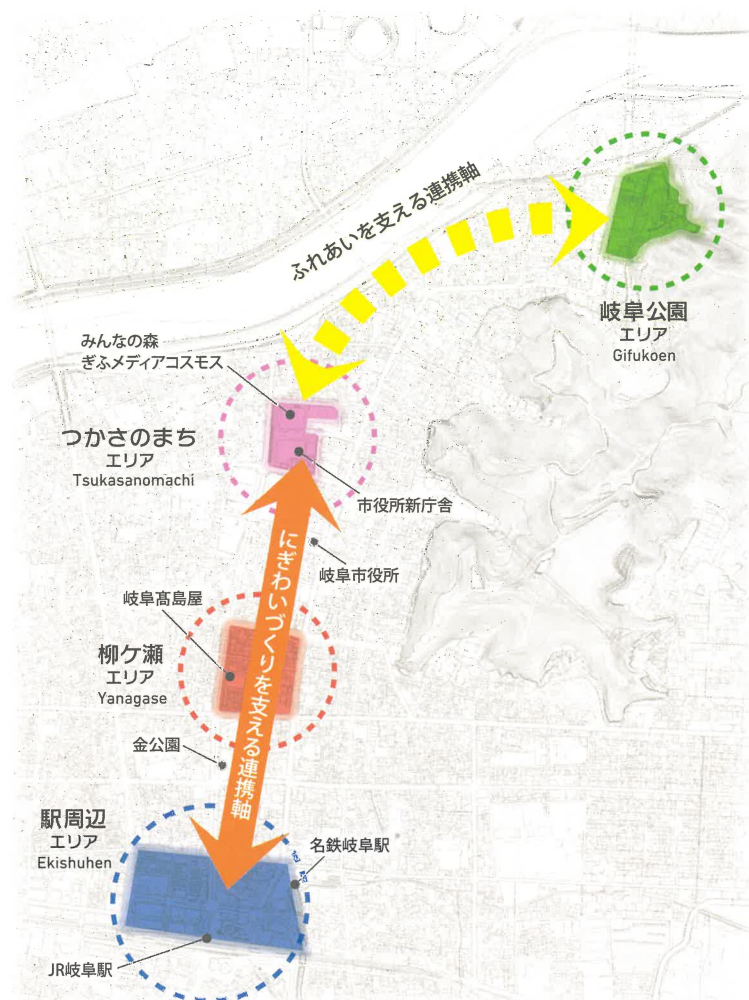
— 時空を超えて、本物の戦国歴史ロマンが息づきます —

金華山の山上部から山麓にかけては、織田信長公時代のもと思われる天守台の石垣や居館跡、斎藤道三公時代の石垣などが次々に発見され、往時の姿に想いをはせることができます。周辺には戦国の当時の人々の営みを彷彿させる町屋が今も残り、その佇まいのなかには、歴史を大切にす人々の思いが息づいています。過去から繋いできた歴史と現在との接点ともいえるこの地では、人々を魅了するオープンエアミュージアムとしての未来がみえます。



エリア間の回遊性を高める連携軸

センターゾーンの回遊性を高めることで、4つの多様なエリアの個性が際立ち、これらの相乗効果によって都市の魅力も高まります。そこで、エリア間をつなぎ、ゾーンの骨格を形成する2つの連携軸の利便性の向上を図っていきます。



にぎわいづくりを支える連携軸

駅周辺エリアからつかさのまちエリアに至る3つのエリアをつなぐ連携軸が、厚く広がりのあるにぎわいづくりを支えます。

ふれあいを支える連携軸

3つのエリアをつなぐ連携軸から、さらに岐阜公園エリアに至る連携軸が、人、文化、知、そして歴史との多様なふれあいを支えます。

エリア間の空間づくり

エリア間にある空間は人の流れの結節点として重要な機能を有しています。公共の用地として存在する空間についても、日常における憩いの場などの機能を持たせながら、人の流動や滞留などにも着目しつつ、長期的な視点で利活用について検討していきます。



エリアマネジメント

センターゾーンを誰もが訪れたいような空間とするには、都市機能を集積するだけでなく、人々のまちづくりに対する想いに裏付けされた様々な活動が展開されることも重要です。これらの活動を共に行い、また、支えることで地域の魅力づくりにつなげていきます。



ぎふ信長まつり

中心市街地一帯で開催される岐阜を代表するおまつりで、様々な催しが行われます。



サンデービルヂングマーケット

手作りやこだわりの詰まった多くの店によって彩られたマーケットが開催されます。



柳ヶ瀬ジュラシックアーケード

にぎわいのある商店街を創出するため、家族で楽しめるイベントなどが開催されます。



令和2年3月
岐阜市企画部総合政策課
岐阜市今沢町18番地 TEL 058-214-2019